

イベント オンラインでの生徒会活動

アルゼンチン・ブエノスアイレス日本人学校

1 前提

学校環境

南米アルゼンチン・ブエノスアイレス日本人学校は、2020年3月下旬より、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月開校を断念、休校措置を取り、急遽オンライン授業体制を整備し、学校運営を続けてきた。

小中学部全学年に在籍生がおり、9学年8クラス体制25名で小学部21名、中学部4名である。また、一時帰国児童生徒数名が日本でオンライン授業を日本の学校に通いながら可能な範囲で受けていた。

課題と目標

全校オンライン授業の中で学習機会は確保されているが、生徒活動をどのようにして行っていくか検討する中で児童生徒会本部が主体となってZoomを用いてできる企画を考え、運営することになった。

2 実践の内容

活用したICTツール

» Zoom

具体的な活用方法

< 児童生徒会活動 >

ブエノスアイレス日本人学校では上級生が中心となって、児童生徒会を組織し、委員会活動や学校行事の運営にあたっている。また、児童生徒総会では児童生徒全員が参加し、よりよい学校にするための話し合いを行っている。

オンライン児童生徒会活動開始!

2020-05-06 03:38:43
テーマ: ブログ

オンラインでの児童生徒会活動が始まりました。
初の試み、オンラインだけでも、しかしオンラインでこそ、可能性を探る試みです。
今日は、F先生、T先生の呼びかけのもと、小学4年生以上が画面前に集まり、みんながながっていただくような活動が可能か、考えていくことになりました。
児童生徒会本部、委員会は図書放送委員会と体育環境委員会です。

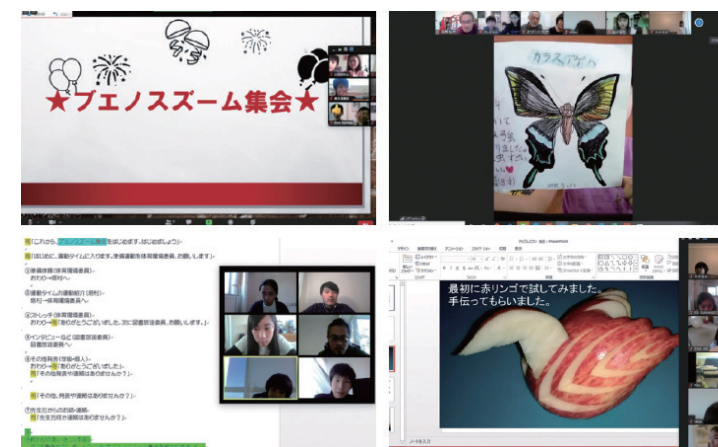
※ ブエノスアイレス日本人学校のブログより
<https://ameblo.jp/jpschoolarg/entry-12594960939.html>

児童生徒会本部(中学部生徒4人)を中心に、ブエノスズーム集会の企画運営を行った。また、「体育環境委員会」「図書放送委員会」のそれぞれの委員会活動では自宅待機中の全校児童生徒の生活にメリハリを持たせるための活動を企画実施した。

» ブエノスズーム集会

中学部の生徒を中心にオンラインでもみんなでできることを話し合い、ブエノスズーム集会を考案。週2回全校児童生徒がオンライン上で集まり、児童生徒会本部が子どもたちの点呼、司会を行い、集会を進行している。

- ① 図書放送委員会…本紹介、歓迎インタビュー(4月から新しくきた児童生徒、新派遣教師)、誕生日インタビュー
- ② 体育環境委員会…運動タイム前後の準備体操、整理体操
- ③ 各学級・個人からの発表…学級や個人で取り組んだことを発表する。
自作料理ビデオ、絵画、調べたこと、集会にあわせてみんなを楽しませるプレゼン、合唱など



» 運動タイム

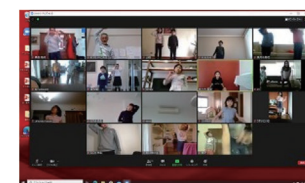
月曜日に教師側からその週の運動動画を紹介。

1週間を通して取り組む運動動画を家庭に配信し、各自が毎日取り組み、Zoomを用いて月曜と金曜に全校で曲に合わせて運動する時間を設けている。

家庭では保護者も児童生徒と一緒に運動する機会となった。



毎週金曜日は、「ブエノスアイレスZOOM集会」です。
今日も2つの委員会による活動の後、何人かから個人発表がありました。
現在、海外子女教育財団が募集している文芸作品コンクールで、各人が自由応募で取り組んでいます。
今日は、中学生2人がそれを披露してくれました。一足先に紹介します。
○ 新しいセーター買って 家の中
○ 夢に見る コロナ落ち着き会える日を 亜国を離れた友人たちと



(今日の体操風景)

※ ブエノスアイレス日本人学校のブログより
<https://ameblo.jp/jpschoolarg/entry-12605467338.html>

3 成果

ICTツールを活用したことでできるようになったこと

» 今まで自分に自信のなかった児童生徒がオンラインではあるが児童生徒会の活動に携わるようになり、少しずつ「やる気」と「責任感」が湧き、自分に自信を持てるようになった。